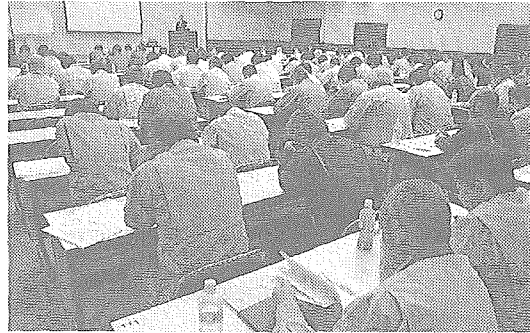


リーダーシップなど学ぶ

室蘭建協 建設業実務講習会



【室蘭】室蘭建設業協会(磯田憲生会長)は23日、2014年度2回目の建設業実務講習会を室蘭建設会館で開いた。会員各社から参加した120人が、リーダーシップとコミュニケーションなどを学んだ。講師を務めた中野会計

120人が実務に役立つ知識を得た

事務所の中野幸一代表は、コミュニケーションで大切なのは「自分を知らなくても「努力」と「相手を知ろうとする努力」を手を知ろうとする努力」だと説明。自分が心を開くことで、相手も心を開くという相互作用がある

と説き、言葉を大切にしたらコミュニケーションが必要だと伝えた。

上司、部下間とのコミュニケーションは「相互交流」「適量」が望ましいと説明。部下より先に上司自らあいさつすることも大事であり、部下に疎外感を感じさせず、適切なアドバイスを与えることが、上司の役割として

大事だと示した。

このほか、施工中のラインフライン事故対策では、北電の担当者が公衆災害、配電線事故を防止するポイントを解説。経済調査会の担当者は、会計検査の指摘事例を取り上げ、施工不良や設計不適切の改善・防止策について講話した。次回は、5月1日の開催を予定している。